

指定管理者制度活用事業 評価シート(特別養護老人ホーム)

1. 基本事項

施設名称	川崎市特別養護老人ホーム長沢辻寿の里	評価対象年度	平成30年度
事業者名	・事業者名 社会福祉法人川崎市社会福祉事業団 ・代表者名 理事長 成田 哲夫 ・住所 川崎市高津区久地3-13-1	評価者	高齢者事業推進課長
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日	所管課	健康福祉局長寿社会部高齢者事業推進課

2. 事業実績

利用実績	<p>①特別養護老人ホーム事業(入所定員 53人) 在籍者数 51人(平成31年3月31日現在:入院等不在者を含む)</p> <table border="1"> <tr> <td>介護度</td> <td>要介護1</td> <td>要介護2</td> <td>要介護3</td> <td>要介護4</td> <td>要介護5</td> <td>その他</td> <td>合計</td> </tr> <tr> <td>利用者数</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>11</td> <td>25</td> <td>14</td> <td>0</td> <td>51</td> </tr> </table>	介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他	合計	利用者数	0	1	11	25	14	0	51						
	介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他	合計															
	利用者数	0	1	11	25	14	0	51															
	<p>②通所介護事業(通所定員 55人) (1)1単位:5~7時間(定員 45人):年間延べ利用者数7,377人:定員に対する稼働率53%</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>4月</td> <td>5月</td> <td>6月</td> <td>7月</td> <td>8月</td> <td>9月</td> <td></td> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>608</td> <td>671</td> <td>666</td> <td>653</td> <td>667</td> <td>595</td> <td rowspan="2">※通所事業は1単位の他に2単位、3単位も行っていますが、ここでは1単位のみを表しています。</td> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>679</td> <td>627</td> <td>572</td> <td>538</td> <td>522</td> <td>579</td> </tr> </table>		4月	5月	6月	7月	8月	9月		延べ利用者数	608	671	666	653	667	595	※通所事業は1単位の他に2単位、3単位も行っていますが、ここでは1単位のみを表しています。	延べ利用者数	679	627	572	538	522
	4月	5月	6月	7月	8月	9月																	
延べ利用者数	608	671	666	653	667	595	※通所事業は1単位の他に2単位、3単位も行っていますが、ここでは1単位のみを表しています。																
延べ利用者数	679	627	572	538	522	579																	
<p>③短期入所事業(通所定員 12人) 年間延べ利用者数3,010人:定員に対する稼働率 68.7%</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>4月</td> <td>5月</td> <td>6月</td> <td>7月</td> <td>8月</td> <td>9月</td> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>239</td> <td>239</td> <td>231</td> <td>251</td> <td>256</td> <td>229</td> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>282</td> <td>281</td> <td>270</td> <td>234</td> <td>258</td> <td>240</td> </tr> </table>		4月	5月	6月	7月	8月	9月	延べ利用者数	239	239	231	251	256	229	延べ利用者数	282	281	270	234	258	240		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月																	
延べ利用者数	239	239	231	251	256	229																	
延べ利用者数	282	281	270	234	258	240																	
<p>④居宅介護支援事業 給付管理者数(平成31年3月分)</p> <table border="1"> <tr> <td>介護度</td> <td>要介護1</td> <td>要介護2</td> <td>要介護3</td> <td>要介護4</td> <td>要介護5</td> <td>その他</td> <td>合計</td> </tr> <tr> <td>管理者数</td> <td>23</td> <td>14</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>48</td> </tr> </table>	介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他	合計	管理者数	23	14	5	4	2	0	48							
介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他	合計																
管理者数	23	14	5	4	2	0	48																
収支実績	<p>①特別養護老人ホーム事業 (収入)</p> <table border="1"> <tr> <td>介護料収入</td> <td>168,149,251</td> </tr> <tr> <td>利用者等利用料収入</td> <td>41,509,810</td> </tr> <tr> <td>その他の事業収入</td> <td>37,874,758</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>247,533,819</td> </tr> </table> <p>(支出)</p> <table border="1"> <tr> <td>人件費</td> <td>162,916,406</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>38,332,048</td> </tr> <tr> <td>事務費</td> <td>36,799,347</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>238,047,801</td> </tr> <tr> <td>(収支差額)</td> <td>9,486,018</td> </tr> </table>	介護料収入	168,149,251	利用者等利用料収入	41,509,810	その他の事業収入	37,874,758	合計	247,533,819	人件費	162,916,406	事業費	38,332,048	事務費	36,799,347	合計	238,047,801	(収支差額)	9,486,018				
	介護料収入	168,149,251																					
	利用者等利用料収入	41,509,810																					
	その他の事業収入	37,874,758																					
	合計	247,533,819																					
人件費	162,916,406																						
事業費	38,332,048																						
事務費	36,799,347																						
合計	238,047,801																						
(収支差額)	9,486,018																						
<p>②通所介護事業 (収入)</p> <table border="1"> <tr> <td>介護料収入</td> <td>38,152,251</td> </tr> <tr> <td>利用者等利用料収入</td> <td>4,299,560</td> </tr> <tr> <td>その他の事業収入</td> <td>26,193,388</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>68,645,199</td> </tr> </table> <p>(支出)</p> <table border="1"> <tr> <td>人件費</td> <td>50,335,096</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>8,406,320</td> </tr> <tr> <td>事務費</td> <td>7,743,260</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>66,484,676</td> </tr> <tr> <td>(収支差額)</td> <td>2,160,523</td> </tr> </table>	介護料収入	38,152,251	利用者等利用料収入	4,299,560	その他の事業収入	26,193,388	合計	68,645,199	人件費	50,335,096	事業費	8,406,320	事務費	7,743,260	合計	66,484,676	(収支差額)	2,160,523					
介護料収入	38,152,251																						
利用者等利用料収入	4,299,560																						
その他の事業収入	26,193,388																						
合計	68,645,199																						
人件費	50,335,096																						
事業費	8,406,320																						
事務費	7,743,260																						
合計	66,484,676																						
(収支差額)	2,160,523																						
<p>③短期入所事業 (収入)</p> <table border="1"> <tr> <td>介護料収入</td> <td>27,372,135</td> </tr> <tr> <td>利用者等利用料収入</td> <td>6,729,960</td> </tr> <tr> <td>その他の事業収入</td> <td>861,250</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>34,963,345</td> </tr> </table> <p>(支出)</p> <table border="1"> <tr> <td>人件費</td> <td>22,294,412</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>6,773,398</td> </tr> <tr> <td>事務費</td> <td>6,943,732</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>36,011,542</td> </tr> <tr> <td>(収支差額)</td> <td>▲ 1,048,197</td> </tr> </table>	介護料収入	27,372,135	利用者等利用料収入	6,729,960	その他の事業収入	861,250	合計	34,963,345	人件費	22,294,412	事業費	6,773,398	事務費	6,943,732	合計	36,011,542	(収支差額)	▲ 1,048,197					
介護料収入	27,372,135																						
利用者等利用料収入	6,729,960																						
その他の事業収入	861,250																						
合計	34,963,345																						
人件費	22,294,412																						
事業費	6,773,398																						
事務費	6,943,732																						
合計	36,011,542																						
(収支差額)	▲ 1,048,197																						
<p>④居宅介護支援事業 (収入)</p> <table border="1"> <tr> <td>介護料収入</td> <td>9,511,415</td> </tr> <tr> <td>利用者等利用料収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他の事業収入</td> <td>2,270,745</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>11,782,160</td> </tr> </table> <p>(支出)</p> <table border="1"> <tr> <td>人件費</td> <td>9,992,835</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>96,367</td> </tr> <tr> <td>事務費</td> <td>406,125</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>10,495,327</td> </tr> <tr> <td>(収支差額)</td> <td>1,286,833</td> </tr> </table>	介護料収入	9,511,415	利用者等利用料収入	0	その他の事業収入	2,270,745	合計	11,782,160	人件費	9,992,835	事業費	96,367	事務費	406,125	合計	10,495,327	(収支差額)	1,286,833					
介護料収入	9,511,415																						
利用者等利用料収入	0																						
その他の事業収入	2,270,745																						
合計	11,782,160																						
人件費	9,992,835																						
事業費	96,367																						
事務費	406,125																						
合計	10,495,327																						
(収支差額)	1,286,833																						
<p>(収入)</p> <table border="1"> <tr> <td>介護料収入</td> <td>243,185,052</td> </tr> <tr> <td>利用者等利用料収入</td> <td>52,539,330</td> </tr> <tr> <td>その他の事業収入</td> <td>67,200,141</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>362,924,523</td> </tr> </table> <p>(支出)</p> <table border="1"> <tr> <td>人件費</td> <td>245,538,749</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>53,608,133</td> </tr> <tr> <td>事務費</td> <td>51,892,464</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>351,039,346</td> </tr> <tr> <td>(収支差額)</td> <td>11,885,177</td> </tr> </table>	介護料収入	243,185,052	利用者等利用料収入	52,539,330	その他の事業収入	67,200,141	合計	362,924,523	人件費	245,538,749	事業費	53,608,133	事務費	51,892,464	合計	351,039,346	(収支差額)	11,885,177					
介護料収入	243,185,052																						
利用者等利用料収入	52,539,330																						
その他の事業収入	67,200,141																						
合計	362,924,523																						
人件費	245,538,749																						
事業費	53,608,133																						
事務費	51,892,464																						
合計	351,039,346																						
(収支差額)	11,885,177																						
サービス向上の取組	<p>○職員のスキルアップ、モチベーションアップへの取り組みとして研修の実施、その後のフォローも徹底しており、その充実した育成の環境が新職員へ良い影響を与えている。 ○食事について、軟菜食に取り組んでいる。個々のニーズにできるだけ応えられるように、食品衛生上問題のない範囲で個人に合わせるように配慮した。 ○利用者のADL向上についても、本人の意思を尊重しながら、必要な他機関と連携をとりながらサービスの向上に取り組んでいる。 ○入所者の地域との交流を目的とし、6施設合同のレクリエーション(囲碁将棋大会)を今年も実施。利用者にとって新たな次年度の目標になるなど、意識向上のきっかけをつくる良い機会となっている。</p>																						

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
適正な業務実施	質の高いサービスの提供	利用者のニーズに合わせたサービス提供が行われているか	10	4	8
		利用者等への情報提供等は十分に行われているか			
		地域交流(行事の開催やボランティアの受入等)を積極的にしているか			
	健康管理	利用者の健康管理は適切に行われているか	10	4	8
感染症への対策は適切に行われているか					
	(評価の理由)				
	<p>特別養護老人ホームでは、本人の意向、体力、対応できる環境など様々な観点から検討し、ケアプランに基づいた外出の機会をつくるようにした。利用者のADL向上についても、本人の意思を尊重しながら、必要な他機関と連携をとりながらサービスの向上に取り組んだ。食事について、極刻みの食形態に代えて軟菜食に取り組んだ。その他、主食を米飯と粥、食パンから選択できるようにし、食事時間についても食品衛生上問題の無い範囲で個々のニーズにできるだけ応えるようにした。褥瘡予防については、平成30年度から全利用者にプレデンスケール(褥瘡が発生するリスクを客観的に評価するための目安)を活用し、褥瘡のリスクや低栄養のリスクについて客観的な判断ができるようになり、改善につながっている。ボランティアは長年の地域との関わりがあることで、今年も多くを受け入れを行った。入居者の地域との交流については、近隣6施設と合同で囲碁将棋大会を開催、他施設の利用者や職員との交流は大変刺激があり、意欲向上に結び付いている。インフルエンザやノロウイルスによる感染症や食中毒予防のための知識を習得するため、6月と11月に2回ずつ、計4回感染症についての研修会を実施。平成30年度は、ノロウイルスや食中毒の発生はなかった。</p>				
収支計画・実績	効率的・効果的な支出	計画に基づく適正な支出が行われているか	5	4	4
		支出に見合う効果は得られているか			
		効率的な執行等、経費削減の具体的な取組は為されたか			
	収入の確保	計画通りの収入が得られているか	5	4	4
		収入増加のための具体的な取組が為されているか			
	適切な金銭管理・会計手続	収入と預かり金等を区別し、適切に管理を行っているか	5	3	3
事業収支に関して適正な会計処理が為されているか					
	(評価の理由)				
	<p>ガス、水道、電気の料金や使用量を毎月前年度と比較する帳票を使って使用量が過度に増えていないか確認した結果、使用量は前年より抑えることができた。収入を増やす為に通所では、稼働率を上げる努力をした。周辺地域に競合する事業所が多いため、平成29年度まで要支援の利用者のみが対象だったマシンを利用したパワーリハビリテーションを要介護の利用者も利用して機能回復を目指すように単位を変更。特徴を出す努力をし、個別機能訓練加算Ⅰを算定することができるようになった。施設会計と利用者預かり金は、引き続きそれぞれ別の担当者が明確に区別し厳重に管理している。</p>				
サービス向上及び業務改善	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	10	4	8
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか			
	業務改善によるサービス向上	サービス向上のための取り組みがなされているか	10	3	6
		業務改善が必要な場合に、現状分析、課題把握、改善策の検討と実施が行われているか			
		業務改善の取組によって具体的な効果があらわれたか			
	利用者の意見・要望への対応	利用者ニーズの把握に努め、それを事業や管理に反映させる取組が為されているか	10	4	8
意見・要望の収集方法は適切だったか(十分な意見・要望を集めることができたか)					
利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか					
	(評価の理由)				
	<p>特養では、職員の資質と能力の向上を目標としたチーム、利用者の生活の質の維持・向上を目標としたチーム、と重点目標をあげ課題解決に取り組むことができた。業務マニュアルの見直しや個々の利用者のケアプランに沿った過ごした方の検討等を行った。介護補助器具の使用を試みる等、新しい方法を取り入れる努力がみられる。また、かわさき健幸福寿プロジェクトに参加。要介護度の改善により表彰されたことで利用者と職員のモチベーションを向上させることに繋がった。通所では、利用者が望む自立した生活を送るために、担当ケアマネジャーや他のサービス提供者との連携を密に行った。その結果、日常生活の相談や健康相談が増え、利用者との信頼関係を築きあげている。居宅では、介護保険制度で提供できるサービスだけではなく、訪問理美容や配食サービス、訪問診療、身元保証サービスといった社会資源を取り入れ、住み慣れた地域で生活を続けるために居宅サービス計画の作成を行った。また、地域の集まりについて情報提供を行い、利用者と家族が地域から孤立しないように働きかけを行った。施設全体では、地域貢献への取り組みを行った。平成30年度の職員研修に地域住民も参加できるようにし、研修内容は地域住民の意見も配慮して決定した。また、認知症に関する出張講義を職員が行い地域からの要望に応えることができた。</p>				

組織管理 体制	必要な人員(人数・有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか	5	3	3
	定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
	再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認が為されているか			
	担当者のスキルアップ	10	5	10
	安全・安心への取組	5	4	4
	コンプライアンス	5	3	3
(評価の理由)				
<p>認知症や精神疾患のある利用者のケアと看取り体制にも備え医師1名の基準に対し、精神科、内科の嘱託医を配置。介護支援専門員1名の基準に対し、利用者の状態変化に合わせたケアプランを迅速に作成するため加配。手厚い整備がされている。</p> <p>職員のスキルアップに向けた取組として、研修を受講した職員の知識を他の職員へ伝達、共有し適切な介護の提供に努めた。通所介護事業では、機能訓練を目的にマシンを使った運動を希望する利用者が増えたため、職員全員携われるようマシンの使い方と効果を伝達することで、リハビリの知識をもって利用者の身体状況をより理解できるようになった。</p> <p>平成30年度は3名が介護福祉士を取得。取得した職員には、手当てを支給。施設側も安定した運営のためのサービス提供体制加算に必要な介護福祉士を確保することができた。</p> <p>職員のモチベーションアップに向けた取り組みとして、年度ごとに職員が自らの掲げた目標に対し、達成した際には賞与に反映した。また、各事業は、正規職員のほかに契約職員によって支えられており、優秀な人材に定着してもらうために、平成30年度は、契約職員の報酬アップも行ない、契約職員にも外部研修の機会を与えた。</p> <p>コンプライアンス遵守に向けた取り組みでは、事業毎に担当者を置き、各施設のコンプライアンスを管理するシステムを作った。具体的には、適正な運営と請求業務の実施状況について4つの高齢者施設の施設長が、運営状況点検書を用いて施設の状況を確認し、さらに事業担当と施設間でその情報を共有することで各施設の解釈に誤りがないか、再確認作業を行なった。</p>				
適正な 施設管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	10	3	6
	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか。			
	施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか			
	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
	外構の植栽を適切に管理(草刈、剪定、害虫駆除等)しているか			
	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか			
(評価の理由)				
<p>施設設備の管理、警備、清掃業務については、併設されている高齢社会福祉総合センターと定期的に庁舎管理会議を開き、施設の計画的な修繕及び維持管理に努めている。</p> <p>事業毎に業務日誌を作成して、利用者の記録はパソコンを利用して入力、介護ソフトに反映させて業務の合理化を図っている。記録にはパスワードを設定して管理している。</p> <p>設備の維持・管理については長寿命化を意識しながら早めに改修・修理できることを把握できるよう十分な保守・点検を行い、利用者の生活に支障がでないよう委託業者と信頼関係を築きながら適切な環境維持に努めている。</p> <p>ボランティア、近隣の方、御家族などの協力も得ながら、定期的に植栽の手入れをしている。</p>				

4. 総合評価

評価点合計	75	評価ランク	B
-------	----	-------	---

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

<p>職員のスキルアップ、モチベーションアップを目的とした研修を充実させている。多くのボランティアの理解、協力を得ながら、地域との信頼関係の構築・維持につながる取り組みにも力を注ぎ、地域への貢献を強く意識した施設運営を行っている。利用者の個々のニーズに応えられるように時代に沿った新しいチャレンジもしており、今後の取り組みに期待する。</p>

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

指導事項等なし
